

区民参加型調査「としま生きものさがし」

1. 調査の目的

本業務における区民参加型調査の目的は、生物多様性についての普及啓発である。また多くの人の目で調査することで、夜間や私有地の生きものの生息・生育状況の記録、希少種の発見など、動植物生態調査と連携して区内の動植物相を把握することも目的である。

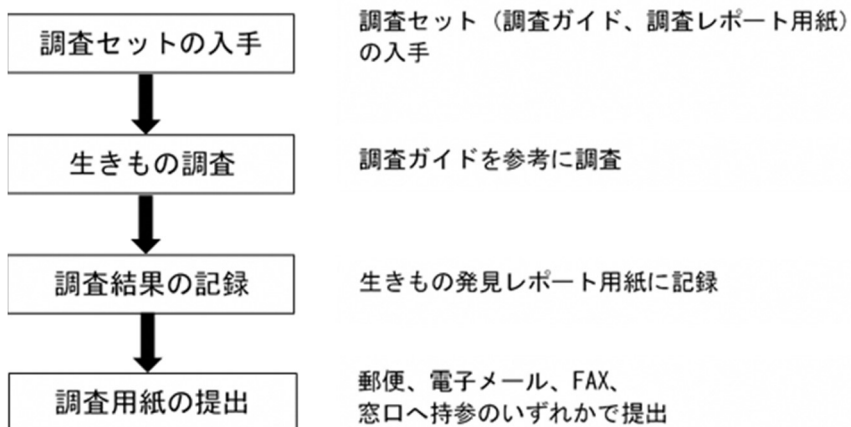
今年度は、参加者から調査用紙を送っていただく「報告型調査」を実施した。

2. 報告型調査

(1) 実施内容

今年度の実施内容は以下の通りである。

期 間：令和3年6月1日～9月30日
調査の流れ：図Ⅱ-2-1参照
調査対象種：図Ⅱ-2-2参照
配布物：としま生きものさがし2021年調査ガイド（図Ⅱ-2-2）
調査レポート用紙（図Ⅱ-2-3）
配布場所：環境政策課窓口、東・西区民事務所、区民ひろば、図書館、地域文化（入手方法）創造館等の施設。区立小学校3～4年生、区立保育園5歳児クラス、区立幼稚園4、5歳児クラス、フレイル事業参加者に配布。
その他 豊島区ホームページからもダウンロード可。



図Ⅱ-2-1 調査の流れ






としま 生きものさがし 2021

区民参加型生きもの調査ガイド

生きものさがしの参加方法

1. 生きものをさがす
さがす場所は、区内であればどこでもOK!
2. 生きもの発見レポートを書く
生きものを見つけたら生きもの発見レポート用紙に書こう!
3. 生きもの発見レポートを送る
右の「生きもの発見レポートの送り方」を見て送ろう! (写真も添えたら送ろう!)

生きもの発見レポートの送り方

- ①郵便で送る。
- ②Eメールで送る。
- ③FAXで送る。
- ④区役所の窓口へ持参する。
(本庁舎6階・平日のみ)
下の送り先に送ろう!

調査期間

令和3年
6月1日
から
9月30日

生きものさがし時の注意

1. むやみに生きものをさわらないようにしましょう。
2. 観察した生きものは、速がしてあげよう。
3. 取にさわれないように虫よけスプレーなどを塗ろう。
4. 毛虫やハチ、ヘビなどの生きものには注意しよう。
5. 小さな子は大人といっしょに調査しよう。
6. きりかみで場所や他人の土地には入らないようにしましょう。

生きもの発見レポートの送り先

しめ切り 令和3年10月15日

①④ 〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1
豊島区 環境政策課 環境計画グループ 宛

② Eメール: A0029180@city.toshima.lg.jp

③ FAX: 03-3980-5134

問い合わせ先 TEL: 03-3981-1597

・写真をEメールで送るときは、一度に4枚くらいまでの大きさをお願いします。
・いただいた写真は、区の広報誌やニュースレターなどで使用させていただきます。
・また、いただいた写真は断片として送るためにはなりません。
・調査の結果は、ニュースレターとして、区のホームページなどを差し上げさせていただきます。
・生きもの発見レポート用紙をご提出いただいた方に、さきやかなプレゼントを差し上げております。
・発見レポート用紙うらに、お名前・ご住所・電話番号をご記入の上ご提出ください(窓口にご提出の場合は不要です)

目指すターゲットは15!

15 区民のみならず、自然が生きもの調査員になって、区内の生態調査を行います。毎年さがすことで、生きものがどこにどのくらいいるかの変化を知ることができ、生物の多様性を保つための重要な一歩になります。

SUSTAINABLE GOALS



豊島区は持続可能な開発目標 (SDGs) を実践しています。

参加方法はうらへ

図Ⅱ-2-2 としま生きものさがし 2021年調査ガイド (1、4ページ)

さがしてほしい生きもの 23種（ここに書いていない生きものも見つけたら おしえてね。）

チョウのなかま

花など花の咲いているところをさがしてみよう。幼虫の食べる葉のまわりをさがすと、卵をうみに卵が産まれている場所があることがあります。

① アガハ (ヤマアガハ) 見られる月 4～10月
幼虫の食べる葉：ミカン系のなかま (アツミカン、サンショウなど)

② クロアガハ 見られる月 4～10月
幼虫の食べる葉：ミカンのなかま (アツミカン、サンショウなど)

③ アオスジアガハ 見られる月 4～10月
幼虫の食べる葉：クスノキのなかま (クスノキ、タブノキなど)

④ ツマグロヒョウモン (オス、メス、若) 見られる月 4～11月
幼虫の食べる葉：スミシロのなかま (タチツボスミシロ、ハンターなど)

⑤ モンシロチョウ 見られる月 3～11月
幼虫の食べる葉：アブラナのなかま (セイヨウアブラナなど)

⑥ キタキキョウ 見られる月 1年中
幼虫の食べる葉：マメのなかま (ハクオウのなかま、ネムノキなど)

⑦ ツマグロヒョウモン (オス、メス、若) 見られる月 4～11月
幼虫の食べる葉：スミシロのなかま (タチツボスミシロ、ハンターなど)

⑧ クマゼミ 見られる月 7～8月
鳴き声をたよりに、木の幹や枝の上をさがしてみよう。

⑨ ミンミンゼミ 見られる月 7～9月
ミンミンミンミン

⑩ アブラゼミ 見られる月 7～9月
チー---

⑪ ニイゼミ 見られる月 7～8月
チー---

⑫ ヒグラシ 見られる月 7～8月
カアカフ カアカフ

⑬ ツクツクボウシ 見られる月 8～9月
オシツツク

セミの幼けがらがついている木の根もこの地面には、幼虫が幼けを出した穴が空いています。穴に幼虫は幼虫から出て木に登り、羽化をします。

そのほかの動物

鳴き声がすばし、鳴き声がたよりに見えます。

⑭ ヒヨドリ 見られる月 1年中
公園や家のまわりをさがしてみよう。

⑮ ムクドリ 見られる月 1年中
キョル キョル

⑯ アスマヒキガエル 見られる月 2～11月
池のまわりや家のまわりをさがしてみよう。

⑰ ニホンヤモリ 見られる月 4～11月
家のまわりをさがしてみよう。

バッタ・カマキリのなかま

バッタや木の上をさがしてみよう。

⑱ ショウリョウバッタ 見られる月 7～10月
うしろあしが長く、めだちます。

⑲ ハラヒロカマキリ 見られる月 7～11月
はねに白い線があります。

トンボのなかま

池のまわりをさがしてみよう。

⑳ シオカラトンボ 見られる月 4～10月
オスは水色で腹部の先の黒いところがオオシオカラトンボより長い。メスは黄褐色で腹部の先端が白い。

㉑ アキアカネ 見られる月 6～11月
オスもメスもはねの付け根が黒い。メスはあざやかな黄色、腹部の先端が黄色い。

㉒ キンヤンマ 見られる月 5～9月

ガイドブックも見てね！

区内で採られるおもしろ生きものことが書いてあります。区のホームページからダウンロードできます。

おもしろ生きものがわかるガイドブック

おもしろ生きものガイドブック

図 II - 2 - 2 としま生きものさがし 2021年調査ガイド (2、3 ページ)

としき生きものさがし2021 **生きもの発見レポート用紙（おもて）**

◆下の「豊島区に」と「年れい」のあてはまるところを○でかこんでください。

豊島区に： さいじゆう 在住 / ざいじん 在勤 / ざいがく 在学 / その他	年れい： 幼児 / 保育園児 / 幼稚園児 / 学生（小・中・高） / その他の10代 20代 / 30代 / 40代 / 50代 / 60代 / 70代 / 80代以上
--	---

◆下に書かれている生きものをみつけたら、みつけた日とみつけた場所を書いてください。

No.	みつけた生きもの	みつけた日 (月日)	みつけた場所 (町、公園、学校、 駅、施設などの 名前を書きます。)	No.	みつけた生きもの	みつけた日 (月日)	みつけた場所 (町、公園、学校、 駅、施設などの 名前を書きます。)
例	ミンミンゼミ	8/1	としま公園	トンボのなかま			
チョウのなかま				13	シオカラトンボ	/	
①	アゲハ (ナミアゲハ)	/		14	オオシオカラトンボ	/	
②	クロアゲハ	/		15	ギンヤンマ	/	
③	アオスジアゲハ	/		16	アキアカネ	/	
④	ツマグロヒョウモン	/		そのほかのトンボ ()		6/17	区民ひろば高南第二
⑤	モンシロチョウ	/		バッタ・カマキリのなかま			
⑥	キタキチョウ	/		17	ショウリョウバッタ	/	
そのほかのチョウ ()		/		18	オンブバッタ	/	
セミのなかま				19	ハラビロカマキリ	/	
⑦	アブラゼミ	7/19	区民ひろば高南第二	そのほかのバッタ・カマキリ ()		/	
⑧	ミンミンゼミ	/		その他の生きもの			
⑨	クマゼミ	/		20	ヒヨドリ	/	
⑩	ツクツクボウシ	/		21	ムクドリ	/	
⑪	ニイニイゼミ	/		22	アスマヒキガエル	/	
⑫	ヒグラシ	/		23	ニホンヤモリ	/	
そのほかのセミ ()		/		そのほかの生きもの ()		/	
◆ほかの生きものを見つけたら、うらに書いてください。							

図Ⅱ-2-3 調査レポート用紙（表面）

としま生きものさがし2021 **生きもの発見レポート用紙（うら）**

No.	みつけた生きもの	みつけた日 (月日)	みつけた場所 (町、公園、学校、 駅、施設などの 名前を書きます。)	No.	みつけた生きもの	みつけた日 (月日)	みつけた場所 (町、公園、学校、 駅、施設などの 名前を書きます。)
例	ナナホシテントウ	7/19	南池袋2丁目	例	ジョロウグモ	9/25	としま小学校
1		/		6		/	
2		/		7		/	
3		/		8		/	
4				9		/	
5				10		/	

生きものさがしに参加した感想などがあれば自由に書いてください。（生きものイラストも待ってるよ！）

生きものさがしプレゼント申し込み欄（窓口に出す場合は書きません）

名前	住所
	電話番号

<p>【生きもの発見レポートの送り方】</p> <p>つぎのいずれかの方法で送ってください。</p> <p>①郵便で送る ②Eメールで送る ③FAXで送る ④区役所の窓口を持参する（本庁舎6階・平日のみ）</p> <p>※写真を提供していただける場合は、①、②、④の方法で送ってください。（一度に4MBくらいまで） ※いただいた写真は広報などで使わせていただく場合があります。写真は原則として返却いたしません。</p>	<p>【送り先】締切 令和3年10月15日まで</p> <p>①④〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1 豊島区 環境政策課 環境計画グループ 宛</p> <p>②Eメール：A0029180@city.toshima.lg.jp ③FAX：03-3980-5134 問い合わせ先 TEL：03-3981-1597</p>
--	--

図Ⅱ-2-3 調査レポート用紙（裏面）

(2) 調査結果

概要を表Ⅱ－２－１に示す。

表Ⅱ－２－１ 報告件数等の概要

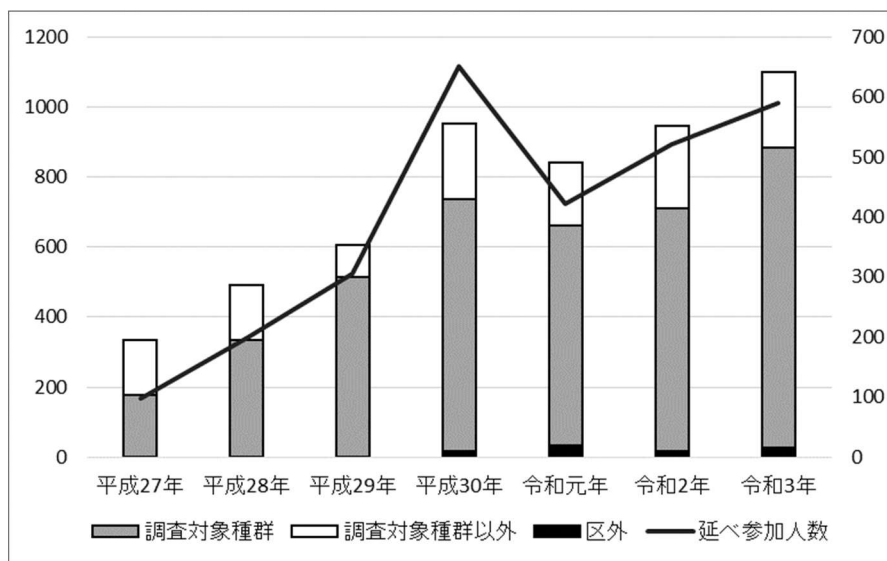
項目		令和3年	令和2年	令和元年	
報告件数 (うち区外)		1,115 (15)	957 (11)	861 (19)	
調査対象種(種群)件数		883	711	661	
調査用紙 回収枚数	回収 方法	メール	27	7	3
		FAX	0	1	0
		郵送	13	4	20
		窓口	60	85	22
		電子申請	0	0	2
		イベント	-	-	152
計		100	97	199	
延べ参加人数		589	521	421	

1) 報告件数と延べ参加人数の推移

本調査開始以降の報告件数と延べ人数の推移を示す(図Ⅱ－２－４)。

報告件数は、「としま生きものがし2021 調査ガイド」掲載の調査対象種(種群)の報告、調査対象種(種群)以外の報告、区外からの報告、に分類している。ただし調査対象種群は必要に応じて見直しているため、年により内容が異なる。延べ人数は、人数×日数で集計している。

報告件数、延べ人数ともに概ね増加傾向である。特に今年度は、報告件数が過去最多であった。



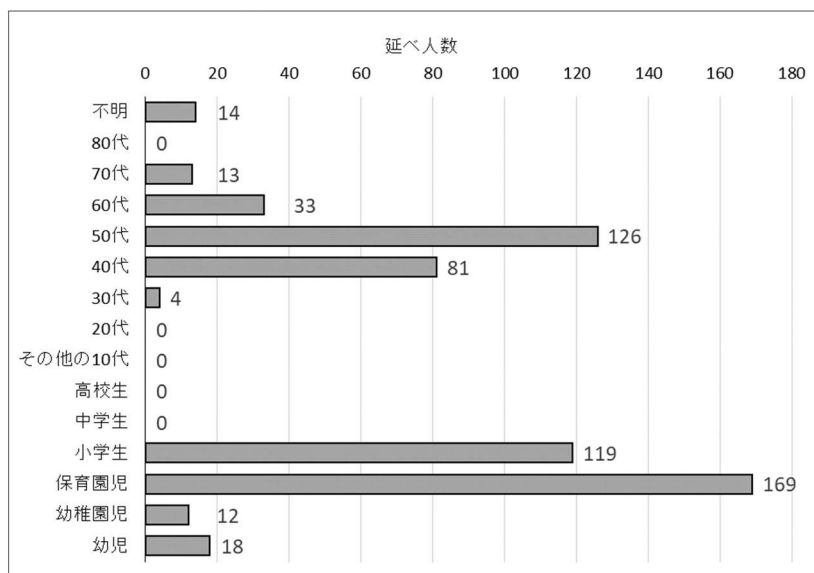
図Ⅱ－２－４ 報告件数と延べ参加人数の推移

2) 参加者の属性

①年代

参加者の年代別の延べ人数は、保育園児が延べ169人で最も多かった(図Ⅱ-2-5)。次いで50代が126人、小学生が119人と続く。50代の参加者は、感想から読み取るとリピーターの方が多いようである。

中学生、高校生、その他の10代、20代、80代の参加は無かった。



図Ⅱ-2-5 年代別の延べ人数

②居住区分

参加者の在住、在勤、在学の別を示す(表Ⅱ-2-2)。在住者が延べ515人と最も多く、次いで在学者、在勤者の順となった。

表Ⅱ-2-2 在住、在勤、在学別の延べ人数

項目	在住	在勤	在学	その他	不明	合計
延べ人数(人)	515	22	27	9	16	589

3) 報告の内訳

①地域別の件数

地域別の報告件数は目白、駒込、南池袋の順で多かった(表Ⅱ-2-3)。それぞれ学習院大学、染井霊園、雑司ヶ谷霊園のある地域である。

②分類群別の件数

昆虫が928件、116種と最も多く、次いで鳥類が83件、17種となった(区外からの報告を除く)(表Ⅱ-2-4)。種数は重複している可能性があるものや疑わしいものを除くと、合計156種であった。

表Ⅱ-2-3 地域別の報告件数

町名	件数
目白	124
駒込	93
南池袋	76
南大塚	69
巣鴨	62
南長崎	52
西巣鴨	46
上池袋	40
東池袋	36
長崎	25
千早	24
池袋	22
高田	20
雑司ヶ谷	18
西池袋	18
池袋本町	16
北大塚	14
高松	12
千川	6
要町	3
区外	15
不明	324
合計	1,115

表Ⅱ-2-4

分類群別の報告件数および種数

	件数	種数
植物	1	1
哺乳類	9	2
鳥類	83	17
爬虫類	24	3
両生類	25	2
昆虫類	928	116
クモ類	12	10
その他	18	5
総計	1,100	156

※区外からの報告を除く

③調査対象種(種群)の件数

報告件数は883件であった(区外からの報告を除く)(表Ⅱ-2-5)。チョウのなかまの報告が371件で最も多く、次いでセミのなかま204件、トンボのなかま128件であった。

種別に見るとミンミンゼミの報告が最も多く、次いでナミアゲハ、アブラゼミの順であった。

調査ガイドで紹介していない種でも、その種群に含まれば集計に入れた。例えば、チョウのなかまのヤマトシジミは調査ガイドに掲載していないが、件数にカウントした。なお、表中に網掛けで示した行は調査ガイドに掲載した調査対象種である。

表Ⅱ-2-5 調査対象種（種群）の報告件数

	チョウの なかま	セミの なかま	トンボの なかま	バツタ・ カマキリ のなかま	ヒヨドリ・ ムクドリ	トカゲの なかま	アズマ ヒキガエル	合計
ナミアゲハ	64							64
モンシロチョウ	61							61
ヤマトシジミ	45							45
アオスジアゲハ	44							44
クロアゲハ	43							43
ツマグロヒョウモン	38							38
キタキチョウ	24							24
イチモンジセセリ	9							9
オオスカシバ	4							4
アカボシゴマダラ	3							3
ヒメジャノメ	3							3
モンキチョウ	3							3
ルリタテハ	3							3
ジャコウアゲハ	2							2
セスジスズメ	2							2
アサギマダラ	1							1
ウラギンシジミ	1							1
ウラナミシジミ	1							1
エビガラスズメ	1							1
オオミズアオ	1							1
カラスアゲハ	1							1
キアゲハ	1							1
コスズメ	1							1
ゴマダラチョウ	1							1
スジグロシロチョウ	1							1
ベニシジミ	2							2
ベニスズメ	1							1
ホシホウジャク	1							1
ムラサキシジミ	1							1
セセリチョウ科の一種	2							2
チョウ目の一種	6							6
ミンミンゼミ		67						67
アブラゼミ		62						62
ツクツクボウシ		24						24
クマゼミ		19						19
ニイニイゼミ		18						18
ヒグラシ		10						10
ゼミ科の一種		4						4
シオカラトンボ			40					40
アキアカネ			28					28
ギンヤンマ			22					22
オオシオカラトンボ			17					17
アジアイトトンボ			3					3
ショウジョウトンボ			3					3
アオイトトンボ			2					2
コシアキトンボ			2					2
コノシメトンボ			2					2
アオモンイトトンボ			1					1
オオヤマトンボ			1					1
オニヤンマ			1					1
クロイトトンボ			1					1
ハグロトンボ			1					1
トンボ目の一種			4					4
オンブバッタ				25				25
ハラビロカマキリ				22				22
ショウリョウバッタ				19				19
アオマツムシ				4				4
クビキリギス				4				4
エンマコオロギ				3				3
オオカマキリ				2				2
クサキリ				2				2
コカマキリ				2				2
トノサマバッタ				2				2
コバネイナゴ				1				1
ノミバッタ				1				1
オカメコオロギの一種				1				1
コオロギ上科の一種				2				2
イナゴ科の一種				1				1
カマキリ目の一種				2				2
ムクドリ					24			24
ヒヨドリ					18			18
ニホンヤモリ						22		22
トカゲ亜目の一種						1		1
アズマヒキガエル							22	22
合計	371	204	128	93	42	23	22	883

④新たに確認された種

区民参加型調査により、動植物生態調査で確認されていない種が新たに14種、報告された(表Ⅱ-2-6、図Ⅱ-2-6)。動植物生態調査で対象としていない種群や飼育されたもの、園芸草本類は除く。

東京都レッドリスト(区部)記載種では、アオイトトンボ(絶滅危惧Ⅱ類)が駒込四丁目で見つかった。レッドリスト記載種以外では、「渡り」をするチョウとして知られるアサギマダラが上池袋一丁目から報告され、区内のみどりが「渡り」の中継地として利用されている可能性が示唆された。その他、トンボ類やチョウ類、コウチュウ類の初確認が多かった。

これらは、多くの人々の目で多くの場所を調査できるという区民参加型調査の利点が活かされた結果といえる。14種中11種は大人の方からの報告であった。今後も幅広い年代に参加を呼び掛け、情報収集していくことが望ましい。

表Ⅱ-2-6 新たに確認された種

分類群	目名	科名	種名	備考
昆虫類	トンボ	アオイトトンボ	アオイトトンボ	都(区部):VU
		イトトンボ	アオモンイトトンボ	
		ヤマトンボ	オオヤマトンボ	
	ナナフシ	ナナフシ	ナナフシモドキ	
	チョウ	タテハチョウ	アサギマダラ	
		スズメガ	エビガラスズメ	
			ベニスズメ	
	コウチュウ	ゲンゴロウ	ヒメゲンゴロウ	
		ゴミムシダマシ	ユミアシオオゴミムシダマシ	
		カミキリムシ	キボシカミキリ	
			アトジロサビカミキリ	
			キマダラミヤマカミキリ	
	ハムシ	イチモンジカメノコハムシ		
	ハチ	ヒメバチ	クロハラヒメバチ	

都RL: 都レッドリスト VU: 絶滅危惧Ⅱ類



オオヤマトンボ(ヤゴ) 西巣鴨一丁目



アサギマダラ 上池袋一丁目

図Ⅱ-2-6 新たに確認された主な種

(3) 広報ツール作成

1) 作成の目的

区民の方への「としま生きものさがし 2021」の結果報告、および生物多様性についての普及啓発と今後の参加型（報告型）調査への参加を促すことを目的とする。

2) 構成

A3 両面で 2 つ折りし、A4 サイズ 4 ページのニュースレターとした。

今年度は 1 ページ目を「フォトコーナー」とし、参加者から投稿いただいた写真を掲載した。2 ページ目は「調査結果」として、報告の内訳を調査対象種（種群）と調査対象種（種群）外の生きものに分け円グラフで示した。見つけた生きものランキングや、見つかった希少な生きもの、報告が増えた種、地域別の報告数などをイラストやグラフを交えて紹介した。3 ページ目は「としまで見つけた生きものマップ」と題し、どこでどんな生きものが見つかったかを写真と地図を用いて紹介した。また参加者の感想と、いただいたイラストの一部を掲載した。4 ページ目には生きものの観察を促すためのコラムを掲載した。ニュースレターの配布時期に合わせ、公園などで春に見ることができるアズマヒキガエルの蛙合戦を取り上げた。

ニュースレター 令和 3 年号を図Ⅱ－2－7に示す。

としま生きがし

の

しき

がし

ニュースレター 令和3年号
編集・発行：豊島区環境清掃部 環境政策課
調査期間：令和3年6月1日～9月30日

15 年

クロスギンギョウマの羽化
西真新第一丁目(西真新小学校)



知ってる? 「蛙合戦」

「蛙合戦」とは、繁殖期のはじめにオスのヒキエルのオスがメスをめくって争う様子のことです。他のオスをバシバシとけり飛ばす様子は迫力があって、思わず見入ってしまう光景です。豊島区で見られるアスマヒキエルも、2～3月に水辺に集まり蛙合戦をします。

音が近づき地面の湿度が上がると、冬眠から目ざめ、においを頼りに自分が生まれた池に移動します。オスはメスを近づけると背中を這わせますが、他のオスも群がるため、そこで蛙合戦が起こります。

強烈なキックはさながら仲間同士のオスが「離して!」と叫んでいる声です。メスは鳴きません。

そうしてメスを最後まで抱きかかえていたオスがカッブルとなります。メスは長いひびき状の卵のかたまりを産み、中の卵の数は多いもので1万個ほど。産卵を終えたとそれぞれすみかに戻り、かたまりの中で眠って春の到来を待ちます。

産卵が終わるのは1～2週間の間だけ。産むかゆるむころ、ぜひご近所の池などで観察してみてください。

としま生きがしについて

なぜ生きものの生きがしがあるの？
地球には、たくさんの生きものがいる。身近な生きものから、遠くまで、さまざまな生きものが生きています。「としま生きがし」は、皆で生きものを守り、生きものを大切にする活動です。

結果はどうやって見るの？
ニュースレターや区のホームページ(生物多様性のページ)でお知らせします。これまでのニュースレターも区のホームページからダウンロードできます。

どうやって参加するの？
2022年度の参加方法は、区の広報やホームページでお知らせします。(2022年4月予定)

SDGsって?

Sustainable Development Goals (SDGs) の中で、持続可能な開発目標」といふ意味です。地球上に生きる人々が安心して暮らすべく、将来も今と同じような地球環境で暮らせるように、世界共通の目標を定め、議論を、協力しながら2030年までに達成することを目指しています。

「としま生きがし」で、いろいろな生きものをさがしてもらうことは、15項目の目標「陸の豊かさも守ろう」につながっています。生きものたちが互いに支えあって生きている豊かな環境があるからこそ、私たちの生活もよくなります。

皆がそれぞれの目標の中から、自分ができることは何か考えてみましょう。

図Ⅱ-2-7 ニュースレター 令和3年号 (1、4 ページ)

としまで見つけた生きもののマップ

見つけた主な生きものご場所を紹介します。

① ナミアゲハ
幼虫はミカンのなかまの葉を食べます。ほとんどの地域で見つかりました。

② クロアゲハ
成虫は日陰を好んで移動します。林のある公園などで見つかりました。

③ オオカマキリ
アゲハの幼虫を好みます。木の上に棲みます。公園や小学校、駅前や商店街でも見つかりました。

④ ハラビロカマキリ
主に木の上に住みます。公園や小学校、駅前や商店街でも見つかりました。

⑤ ホンアマガエル
鎌倉区の園地は人が小さな虫をとりまわす。2015年以降の報告です。

⑥ アブラコサシロ
園地や川などの上を飛んで小さな虫をとりまわす。2015年以降の報告です。

見つけた生きもののランキング

- ① ミミンゼミ (67件)
公園や遊歩道など、いろいろなところで声がかげられました。
- ② ナミアゲハ (64件)
成虫だけでなく、幼虫の報告もありました。
- ③ アブラゼミ (62件)
写真を多くいただきました。虫とりなどで人気です。

区内の希少な生きもの

- ・アオダイショウ
学習院大学のある、目白一丁目で見つかりました。
- ・ヒグラシ
スミなどの野糞樹林を好むため、区内では数が少ないです。
- ・ツミ
タカのみかまです。栗井園と緑が台公園で見つかりました。

調査結果

不明	5件
アスマヒキガエル	22件
トカゲのなかま	23件
ヒヨドリムクドリ	42件
ハッタ・カマキリ	93件
セミのなかま	204件
トンボのなかま	128件
その他	227件
チヨウのなかま	371件

緑の報告数：1,115件 (うち区外15件)
さかしてほしい生きもの報告数：883件
のべ参加人数：589人

感想

いつも「蝶々たね〜トンボたね〜」と書いただけなのに、今回の調査では、里山の園地で種を調べたりして、親子で楽しむことができました。「アオスジアゲハがいた！」などと覚えていました。(母) (幼児)

聞きなれない虫さしかして見上げてみると、想像できない鳥が針葉樹の枝で何かりさな生き物を食べていました。長いし羽毛で覆って見えますが、猛禽類を買ったのは初めてです。公園区には良い自然環境が残っていると感じました。(60代)

一番小さな虫、そでた鱗があるゲンヤンマです。(小学生)

生きものにコロナは関係ないのですね。感染者が抑えられた夏でも、生きものは変わらず生活しています。マスクしながら生きもの観察は、大変でした。でも、楽しかったです。(50代)

もともと生きもの好きで、いろいろな生き物に興味があります。とてうれしくなって、虫や鳥をさがせるようになって、この生きもののおかげで自由な生き物探しも決まってきました。本当にありがとうございます。とてうれしく思います。行ってください。(小学生)

地域別の報告件数

そのほかの地域でも生きものたくさん見つかりました！

アオダイショウやスズメグモなどの生きものは暖かい地域のクモですが、温暖化で分布が北上しています。

報告がふえた生きもの

アオダイショウやスズメグモなどの生きものは暖かい地域のクモですが、温暖化で分布が北上しています。

特にセミのなかまがふえました！

たくさんのご参加、ありがとうございます！

図Ⅶ-2-7 ニュースレター 令和3年号 (2, 3 ページ)

(4) 今後の展望

1) 今年度の成果

報告件数、延べ人数ともに年々増加しており、特に今年度は報告件数が過去最多であった。参加者はほとんどが区内在住者で、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅時間の増加、また身近な公園などで個人で取り組める活動のニーズがうかがえる。参加者の感想からも「虫たちのことがしれてよかった」等、概ね好評をいただいた。一方、「年々観察される生物の種類が減ってきている」という意見、また、他区のように大きく自然豊かな公園があると良い、虫の観察会をしてほしい等の意見もあった(表Ⅱ-2-7)。

報告内容では昨年同様ナミアゲハ、ミンミンゼミ、アブラゼミが上位を占めた。これらは区内で最もよく見られる生きものといえる。今年度はセミ科、特に温暖化で分布が北上しているクマゼミや区内では個体数が少ないヒグラシの報告が増加したが、実際の傾向を把握するためには継続して見ていく必要がある。またスズメガ科、コウチュウ類の報告も増加した。

団体では高松第二保育園、南長崎はらっぱ公園を育てる会の2団体からの参加があった。

2) 次年度の提案

①生きものの問い合わせアドレスの活用

生きものに関する区民の方からの問い合わせアドレスを設けているが、今年度は質問が寄せられなかった。調査ガイドにアドレスを掲載し、ホームページからはメールフォームで送信できるようにするなど、気軽に利用してもらえよう周知を図りたい。

②調査対象種の見直し

本調査を開始した平成27年度は、調査対象種は指標性を考慮して選定された。しかし、指標種の調査よりも生きものに興味を持ってもらう段階が必要であることが課題に上がり、平成28年度には親しみやすさ、見つけやすさをもとに対象種が見直された。以降は、報告件数が増加し報告される種数も増えてきている。

今後は親しみやすさを残しつつ、指標性を取り入れた調査対象種を再検討したい。候補種を以下に挙げる。

・温暖化やヒートアイランドの影響で分布域が北上している種

クマゼミ、ツマグロヒョウモン、ナガサキアゲハなど

・都市部で少なくなっている種

スズメ、ミノガ類(ミノムシ)、カタツムリ類、両生類、爬虫類など

・生息環境の違いから環境の把握に役立つ種

オオカマキリ：草地／ハラビロカマキリ：樹林

オンブバッタ：低茎草地(広葉)／ショウリョウバッタ：高茎草地(イネ科)など

これまでも調査対象だった種が含まれるが、なぜ見つけてもらいたいのか、目的を整理することは必要である。

参加者が種類を見分けやすいことも重要である。トンボ類は飛行速度が速く種によっては同定が難しい。これまでのアキアカネの報告も実際はナツアカネやショウジョウトンボ、ウスバキトンボなどの別種が混ざっていると思われる。ただし幼虫(ヤゴ)が好

む水辺環境の違いや成虫の生活環から、トンボ類の生息状況は自然環境の把握に有効である。例えばアキアカネを「アカネ類」とまとめて報告してもらうなどの工夫は試行の余地がある。

③参加者を増やす取り組み

市民団体や学校との連携を引き続き行っていくことが望ましい。総合学習や理科の授業、クラブ活動などに取り入れてもらうことで小学生や中高校生の参加が期待できる。

また、職員が常駐している公園や緑地での配布も効果的と考えられる。区立施設では池袋の森、目白の森、目白庭園など、区立施設ではないが今年度報告が多かった地域にある学習院大学、染井霊園、雑司ヶ谷霊園などでの周知が可能であれば実施できると良い。

3) 今後の展望

「としま生きものさがし」は今年度で7年目を迎え、データが蓄積されてきていることから、一度これまでの報告を分析する機会を設けることを提案したい。生物相の変化、地域差、緑被率との関連など多方面から考察を行うことで区内の自然環境をより踏み込んで把握し、取り組みの改善やまちづくりの参考にできるデータとしたい。

区民によって得られたデータの活用は本事業の意義を高めることにつながり、区民にとっても調査結果が活用されている実感は今後の参加意欲になると考えられる。得られた分析結果はニュースレターのように分かりやすい内容にまとめ、広く共有することが望ましい。

表Ⅱ-2-7 参加者の感想（1/2）

レポート 用紙の 通しNo.	感想
5	散歩しながら色々な生き物を見つけるのが楽しみになっていました。知らない間に冊子の生き物の名前と特徴を覚えていてびっくりしました。(母)
3	比較的敷地の広い一戸建ての跡に次々とマンションが建設され、植栽、緑地の二次元的継続性が無くなり年々観察される生物の種類が減ってきています。豊島区は最近何かと言えばSDGsという言葉を出しますが、このような条例を満たしていればよいというような安易な開発が続いているのを見ると、豊島区は本当の意味の持続可能性が理解できているのか甚だ疑問です。
1	イケサンパークの草むらにバッタ、コオロギをたくさん見つけた。8月中旬には3cmくらい巨大なコオロギも発見して、びっくりした。生きものさがしとても楽しかったです。
7	西巢ビオトープは一昨年より植物を増やし継続的に整備しているので、着実に生きものの種類が増加。また西巢鴨小プールでは、過去のヤゴ救出では見たことのないコシアキトンボとオオヤマトンボのヤゴを救出。昨年水泳の授業がなく1年半以上水を張った状態だったからかもしれません。救出したヤゴは自宅にて飼育、一部をトンボにして放つことができました。環境を整備すると多様な生きものがやってくるのだと改めて実感。豊島の子どもの身近な環境教育の場となるよう、各学校や公園にビオトープが増えていくと嬉しいです。
8	生きものさがしをして、いろんな生きものを知ったりすることができるので、こんな生きものがあるだ…っとかべんきょうになるし、さがすのもたのしかったです。
10	転勤族で2021年4月より転入致しましたが、予想以上に多様な昆虫が多く驚きました。また生まれ育った地域と違い、アオスジアゲハ、ミンミンゼミの多いことにも気が付きました。マンションのベランダのゴーヤカーテンにも多様な昆虫が集まってきました。
11	子供が4歳になり、虫が大好きになり、今年はいろいろさがすことができました。
14	ベランダのゴーヤ、屋内階段の窓ぎわ、屋上、非常口の扉など区民ひろば周辺のところどころで見つけました。見つけようと動き回るとうまくいきませんが、「生き物」は気にかけていけば思わぬところにいるのがおもしろいところです。セミを初めてさわるとい子とその様子を観察できたのはよかったです。
18	生きものさがしに参加しなかったら、コマルハナバチを気にかけることはありませんでした。今年も、コマルハナバチに会えて、黒色だったのでメスでした。
19	もともと生きものなどが大すきでこういうきかくがあると、とてもうれしくなって楽しく虫や鳥をさがせるようになって、このきかくのおかげで自由けんきゅうテーマも決められました。本当にありがとうございます。とでんぞうしがやの「そうしがやぼち」に生き物がたくさんいます。行ってみてください。
20	家の近所の公園は静かな公園が多く、虫の気配がありませんでしたが都心の公園をまわってみるとセミしぐれが聞こえるところが多くびっくりしました。
24	虫をさがすのがたいへんでした。
25	かぶとむしつかまえたい。
26	去年は家の近くでセミを見つけた。今年は庭の掃除をしていて、雑草を抜こうとしたらオンブバッタを見つけた。緑色が草と似ていて、跳ばなければ気が付きませんでした。ちなみにスズメはよく庭に遊びに来ます。
28	虫たちのことがしれてよかったです。
30	たのしかった。
31	時間があるとよく公園など散策しています。生きものが生活しているのを見るのが楽しいです。スズミグモを初めて見ました。生息域が北上しているようなので、段々当たり前に見られるようになっていくのかもしれない。

表Ⅱ－２－７ 参加者の感想（２／２）

レポート 用紙の 通しNo.	感想
34	生きものさがしをするのがたのしかった。
35	今夏、虫に興味をもって公園で遊ぶ良いきっかけになりました。トンボは動きが早くて種類を識別できませんでした。セミの種類を覚えて得意になっていました。今後共楽しい企画を期待しております。母
37	いつも「蝶々だね～トンボだね～」と言うだけなのに、今回の調査では、昆虫の図鑑で種類を調べたりして、親子で楽しむことができました。「アオスジアゲハがいた！」など覚えていました。文京区の六義園や新宿区の新宿御苑などでは、もっといろいろな種類の昆虫を見つけることができました。豊島区にもあいった大きな、自然豊かな公園があると嬉しいです(難しいとは思いますが・・・)。
40	いろんな生きものが見れて、楽しかったです。こんども、見つけてみたいです。
41	ツクツクボウシ、ニイニゼミは鳴き声だけで見たことはありません
42	こわすぎてめっちゃこわかったです。なのでにげちゃいました。
43	聞きなれない鳴き声が見上げてみると、見慣れない鳥が針葉樹の枝で何か小さな生き物を食べていました。帰宅してネットで調べたところ「ツミ」という鳥でした。長いこと東京で暮らしていますが、猛禽類を見たのは初めてです。豊島区には良い自然環境が残っていると感心しました。ハクビシンは空き家に住みついているらしいですが、サンシャイン近くにいるなら、空き家ごと保存して、キッズパークにハクビシンの来る網のトンネルで展示とかしたら楽しいかもしれません。名物になるかも…
45	たのしかった！！家の近くにもっと虫や生き物と触れ合える場所が欲しい！虫の観察会をやってほしい！
46	狭い自宅に庭にあげば幼虫のために、レモンとみかんの木を育て、ちょうのために、お花を上、庭に殺虫剤をまかないようにしています。ムクドリやヒヨドリが来る頃は、屋上に、毎日バナナを切ってつけています。少しでも生きもの達が増えてくれればいいなと思ってやっています。
47	ほそかわ庭園にはほとんどオオシオカラトンボとシオカラトンボだったけど、その中に1ぴきだけ大きいオニヤンマがいたのでびっくりしました！（すこしシオカラトンボにさわれました。）木にのぼろうとしているミンミンゼミを手にとりました。ぜんぜんはなれてくれなかったです。
60	生きものは、みじかにいるけれど、それをかんさつをできた。虫は、きょうみがあるけれどさわれないが、もときょうみをもっと少しさわれる虫がふえました。一番すきな虫 そだてた事があるギンヤンマです。
61	生きものにコロナは関係ないのですね。感染者が増えた夏でも、生きものは変わらず生活していました。マスクしながら生きもの観察は、大変でした。でも、楽しかったです。今年は、チョウトンボには会えませんでした。今後とも、豊島区の生きものや自然を楽しみ、大切にしていきたいと思います。
62	ちょうちょうがかわいかった。とんぼさんがおもしろかった。